

◆中面記事の通常講座に加えて、令和7年度は「30周年記念講座」として、次の講座を3～4回で予定しております。

「ショパンを耳にしながら、今日の世界を見る、ポーランドへのいざない」

開催日程等詳細は、令和7年度開講後、別途ご案内します。

◆令和7年度の宿泊巡検および特別集中講座の実施については、検討中です（令和7年1月現在）。

受講手続きの流れ

1. FAX※1、封筒郵送※1、はがき、メール、Webで、次の内容をお知らせください。

※1 別途の受講申込書をご利用ください。

①受講希望講座 ○○○○○

(2講座申込希望の方は、2つの講座名を明記ください)

②氏名(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤FAX番号

⑥メールアドレス(休講などのお知らせに使用します)

・FAX送信先: 03-3715-3099

・郵送先: 〒153-8573 目黒区役所生涯学習課内<住所不要>

・メール送信先: megurocc1995@gmail.com

・めぐろシティカレッジホームページ(右コード)から申込み可

めぐろシティカレッジ Wix 検索



2. 手続きの流れは次の通りです。

	応募締切	受講確定 振込案内送付	受講料振込締切	受講証送付
日程	3月3日	3月上旬	3月17日	4月上旬

3. 講座当日は、受講証(聴講生適応の回は聴講生証)をご持参の上、会場へお越しください。

※原則として入金後の講座の変更・キャンセルはできません。

やむを得ない事情が生じた場合は、1回目の講義の前までに事務局にご相談ください。

受講に際して

- 1 やむを得ない事情により、日程や講師等を変更したり、講義の短縮や中止の場合もあります。予めご承知おきください。
- 2 現地実習については、荒天等により実現できなかった場合、天候や講師の都合により平日に実施する場合もあります。日程変更により欠席された場合でも返金できません。予めご承知おきください。
- 3 講師や他の受講生に迷惑をかけたり、講座運営に支障をきたす行為があった場合、受講をお断りすることがあります。
- 4 受講を修了した方が研究会を作る場合には、事務局へご相談ください。
- 5 主な会場は目黒区立中央町社会教育館(中央町さくらプラザ)ですが、講義によっては現地実習があります。現地実習の集合場所や時間等は別途ご案内します。

Q&A

Q1 講座を2つ申込みことはできますか?

A1 できます。日程が重なっていない講座と組み合わせでお申込みください。

Q2 聴講生として選択する講義3つは、同一講義内に限られますか?

A2 日程が重ならない2つの講座から自由に選択ください。

Q3 8月を挟んで異なる講座を申し込んでも良いですか?

A3 お申込みは、「通年」でお願いします。

Q4 抽選で落選した場合はどうなりますか?

A4 応募状況により、定員に余裕のある他の講座等をご案内させていただきます。



お問合せ

めぐろシティカレッジ振興会事務局

TEL: 03-5722-9316

(月～金曜日 10:00～17:00)

目黒区上目黒 2-19-15

目黒区教育委員会事務局 生涯学習課内



第31回(令和7年度)受講生募集

めぐろシティカレッジ 受講案内・募集要項

応募締切: 令和7年3月3日(月) ※消印有効

●「めぐろシティカレッジ」の紹介

平成7年10月開講

めぐろシティカレッジは、東京都立大学が八王子市に移転するに際し、「お世話になった目黒区に何かお役に立つことがあれば協力したい」という、東京都立大学の総長山住正己先生(当時)をはじめ、大学関係者および、東京都立大学附属高等学校の皆様のお熱い思いを受け、目黒区、東京都立大学、同大附属高等学校、東京都教育庁の4者が協力して、目黒区民の生涯学習に貢献し、生活・文化に寄与することを目的として開始した生涯学習講座です。

現在、任意団体「めぐろシティカレッジ振興会」が運営を行っております。

令和7年度の会場につきましては、前年度に引き続き目黒区立中央町社会教育館(中央町さくらプラザ 目黒区中央町2-4-18)で実施します。

●学習の目標

「めぐろシティカレッジ」では、設立の趣旨に基づき、次の3点を学習の目標に掲げています。

- 1 わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で誰からも強いられることなく、自らの意思と方法で勉強して自己実現をはかります。
- 2 わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で蓄積された知的資産を「明るい豊かな人間のまちづくり」に生かします。
- 3 わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」での学習や研究、「まちづくり」を通じて育まれた温かい人間関係をより豊かにするとともに、新しい価値観と生きがいを求め行動します。

講座開催にあたりご協力をお願い

- ✓ 発熱又は風邪のような症状がある方、ご家族に発熱症状のある方、少しでも感染の恐れがある場合は、講座への出席をお控えください。
- ✓ 状況により、掲載されている講座や講座会場などが変更される場合があります。
- ✓ 休講などのお知らせに使うため、メールアドレスをお知らせください。

開講式

令和7年4月12日(土) 11時より (於: 目黒区総合庁舎内2階大会議室)
(当日初回講義のある方は、午後14時より、中央町社会教育館に移動して受講ください。)

講座案内

「通年制」となります。

各講座とも全14回 / 1講座につき受講料21,000円 / 定員50名

※現地実習のある講座について

抽選(区内在住・在勤・在学優先)

- ①イヤホン・ガイド使用料として年間 1,500円のご負担をお願いいたします
(お振込みの通知送付時に、各申込者に振込金額をお知らせします)
- ②その他に、見学先により、別途入館料など実費が必要な場合があります。

聴講生制度について

「通年制」講義の受講申込者に限り、同年度に開講する講義の中で、別の講義を3回希望することのできる制度です(ただし定員に空きがある場合)。聴講生としての受講料は、3回で5,100円です。詳細は、3月3日の受講申し込み締切後、受講決定者にお知らせ予定です。

全4講座(通年制)

令和7年4月～令和8年1月 (講義時間 午後2時～4時)

1.	目黒学 パート31「歌から見る、時代と世界そして地域」* *イヤホン使用講座有り コーディネーター:山崎 憲治
4/12	【オリエンテーション】 歌から見る、時代と世界そして地域 山崎 憲治 元岩手大学教授
4/26	唱歌が教育に果たした役割、山住正己先生の仕事を振り返る中で展開する 山崎 憲治 元岩手大学教授
5/10	唱歌から読む歴史～金田一春彦先生から伺ったこと～ 山崎 憲治 元岩手大学教授
5/24	本居長世と目黒、本居長世の生活した地域(目黒不動、旧居)を探る 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授
6/14	音楽の楽しさ、感性の発露を導くには 本田 裕子 東京都立町田総合高等学校主任教諭
6/28	やはり歌から世相と時代を見る 前田 和男 ノンフィクション作家
7/12	戦争と歌 前田 和男 ノンフィクション作家
9/27	農業、あるいはエネルギーの変換(炭鉱)が衰退させられる中での歌 山崎 憲治 元岩手大学教授
10/11	ヒット曲でつづる戦後日本経済史～歌とデータを重ね合わせて～ 越田 年彦 元慶応義塾大学訪問教授
10/25	歌と風景～横浜山手から見る風景～ 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授
11/8	作詞家としての阿久悠 吉田 悦志 明治大学名誉教授
11/22	阿久悠記念館見学 現地実習 吉田 悦志 明治大学名誉教授
12/13	作家としての阿久悠 吉田 悦志 明治大学名誉教授
1/24	【まとめ】トークセッション 山崎 憲治、前田 和男、吉田 悦志、越田 年彦

2.	いま、地球で何が起きているのか パート2 コーディネーター:堀 信行
4/12	現代の「いのち」観の揺らぎを考える 堀 信行 東京都立大学名誉教授
4/26	世界の農業・日本の農業:いま農業(農地)で何が起きているのか 栗生田 忠雄 新潟大学農学部・助教
5/10	軍隊を撤退させた、小さな国の人々の知恵とは～(映画『カンタ!ティモール』鑑賞を含む) 広田 奈津子 映画「カンタ!ティモール」監督
5/24	人間性の深層:太平洋の民族ティモール島に学ぶ 広田 奈津子 映画「カンタ!ティモール」監督
6/14	いまインドネシアで何が起きているのか 矢田 誠 公益社団法人日本環境教育フォーラム・インドネシア事務所長
6/28	UNHCRの難民支援と私たちにできること 天沼 耕平 特定非営利活動法人 国連UNHCR協会 広報啓発事業担当
7/12	いま日本の地域社会で何が起きているのか 室伏 多門 一般社団法人映像文化革新機構事務局長
9/27	ジェノサイドを考える:ガザ・ウクライナ・原爆・ホロコースト・東学農民を手がかりに 戸田 清 長崎大学名誉教授
10/11	激変する世相を文学etcから考える 吉田 悦志 明治大学名誉教授
10/25	変化する沿岸域の生態系:造礁サンゴの白化・磯焼けをめぐる 堀 信行 東京都立大学名誉教授
11/8	自然観の変貌 越田 年彦 元慶応義塾大学訪問教授
11/22	人間はなぜ戦うのか 小迫 俊一 こおろ社(出版)代表
12/13	アフリカの一郭 エリトリアから今の世界はどう見えるか エスティファノス・アフォウキ 駐日エリトリア国大使
1/24	われわれは何処へ向かおうとしているのか 堀 信行 東京都立大学名誉教授

3.	「時代の変化」とは何か? ～変わるもの・変わらぬもの～ コーディネーター:森 慎一郎
4/19	「女性」と「イエ」から考える ① 古代～この時代の特色～ 高松 百香 東京学芸大学特任准教授
5/17	②「古代から中世へ」～変わるもの・変わらぬもの～ 高松 百香 東京学芸大学特任准教授
5/31	③「中世」～この時代の特色～ 高松 百香 東京学芸大学特任准教授
6/7	④「中世から近世へ」～変わるもの・変わらぬもの～ 中臺 希実 明治大学兼任講師
6/21	⑤「近世」～この時代の特色～ 中臺 希実 明治大学兼任講師
7/5	⑥「近世から近代へ」～変わるもの・変わらぬもの～ 中臺 希実 明治大学兼任講師
7/19	時代を生きた人々 ① 行基 荒川 聡美 早稲田大学総合研究機構招聘研究員
10/4	② 木曾義仲 坂井 彪 総合研究大学院大学 博士後期課程
10/18	③ 佐々木道誉 坂井 彪 総合研究大学院大学 博士後期課程
11/1	④ 世阿弥 清水 克行 明治大学商学部教授
11/15	⑤ 出雲阿国 森 暁子 十文字学園女子大学講師
11/29	⑥ 仮名垣魯文 小林 実 十文字学園女子大学教授
12/6	平安時代の庶民の生活 越川 真人 東京大学史料編纂所・学術専門職員
1/17	戦国時代の庶民の生活 柴田 修平 明治大学文学部助手

4.	見て回る 江戸・東京 *イヤホン使用講座有り コーディネーター:佐藤 洋、生井 貞行
4/19	【本講座のねらい】巡検の基礎知識/都立大学駅周辺の地域について 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
5/17	都立大学駅周辺の地域について(都立大学駅から駒沢公園方面) 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
5/31	家康が見た江戸の城と町 齋藤 慎一 東京都江戸東京博物館分館 江戸東京たてもの園 学芸員
6/7	文京区駒込地区、江戸の野菜栽培(江戸の野菜、富士塚、六義園、ソメイヨシノの里) 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
6/21	本駒込駅から駒込駅(目黒不動、吉祥寺、富士塚、六義園、ソメイヨシノの里) 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
7/5	江戸の水「羽村取水堰付近」散策と醸造所見学 現地実習 生井 貞行 元桜美林大学講師
7/19	江戸上水・東京水道の歩み「水道歴史館」 現地実習 生井 貞行 元桜美林大学講師
10/4	吉原はどのように始まったか? ～浮世絵に残る痕跡～ 日比谷 孟俊 江戸伝統文化推進 燈虹塾 塾頭
10/18	歩いて知ろう吉原の歴史と文化 現地実習 日比谷 孟俊・不破 利郎・青木 繁弘(江戸伝統文化推進 燈虹塾)
11/1	玉川上水(小金井付近)散策と「江戸東京たてもの園」 現地実習 生井 貞行 元桜美林大学講師
11/15	東海道53次 その① 江戸五街道『日本橋』 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
11/29	日本橋周辺 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
12/6	東海道53次 その② 東海道第一宿『品川』 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
1/17	品川、旧東海道、富士塚、北品川周辺 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭